時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價（府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す）

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ）

●●前金　一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事と御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國内並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦潮斯德、清國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一月以上	六月迄	七月以上
一行　〃　付	十三錢	十一錢	十錢	五厘

●●●●廣告料定價　時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の内には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を謝絶する事もあるべき筈に付豫め廣告依賴者諸君に公告す

本社へ寄稿れ付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を充塞するより各社同一の記事を掲ぐるあり寡から ず鋼り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も尋かちされば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に達したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

左の一篇は在水戸の某生より寄送したるものなり乎、一地方に關すれども目下流行の非内地雜居論に對する意見として見て可きものあるが故に茲に記載す

雜居尚早論に就て

水戸　某

我の非内地雜居論者は雜居尚早の說を唱へ頻りに勢焰を張らんとして地に我地方にまで其餘波を及ぼすに至れり蓋し我水戸は曾て攘夷論を唱へて一世を震動せしめたる有名の地にして近世の史上に鮮かに墨痕を染め現に古老輩の今尚ほ存する者あるを乎として之に付込み大に手を廣げんとするの趣向なちん彼等が自家の勢力を張るの手段には自から便宜も少なからず謀り得て然るが如くなれども苟も文明の教育を受けて少しく今日の事態に通ずる我輩に於ては眼前に此論の謬慮するを見て聊か辯ずる所なきを得ず熟ら〳〵其輩の說を聞くに一方には對等條約を主張しながら一方には雜居を許可すべしと云ふに在り事實に於て斯る併論の行はる可らざるは勿論なれども論理に於ても亦撞着を免れざる者なり抑も對等條約とは兩國を對等のものと見て始めて出來得べき相談にして所謂る國の對等とは獨立主權と云ふが如き單純なる文字上の意味にあらず實際に於て國家人民の地位相等しく實力相平均するの實を見ると肝要なり故に對等條約を望む以上は少なくも彼我國民に優劣なきを讓認せざる可らず如何となれば國は即ち人を以て成る者なれば國にして對等ならんとすれば人も亦自から對等ならざるを得ざればなり然るに彼論者は外國人は我人民に比して智力金力共に優等なるが故に彼と雜居するときは我國民は彼に壓倒せらるゝの恐あり故に雜居は許す可らずと云ふ是れ明に我人民を以て彼に劣る者と視做し我人民を劣等國人と認むるものなり畢竟して優等の人ならんか即ち其人より成れる國に對して對等條約は到底望む可らざるなり我輩は固より對等條約を望んで其必成を期すと雖も決して斯る卑屈の見を抱くに非ず寧ろ我國民は進んで彼等と對等の地位に立ち世界各國の人民と競爭して立派に日本國の體面を保ち得べきを信じて疑はず又今日の實際に於て既に對等の實力あるを知る者なり然るに論者が自から貶して劣等國人なりと云ふは取りも直さず彼我優劣の間には現行の條約あるを以て彼我の優劣は迚も望む可らずと宣言するに異ならず卑怯の甚だしき者と云ふ可し

我水戸の先君先人は曾て攘夷論を主唱したり然れども其攘夷論の精神は必ずしも無暗に外人を打拂ふの意にあらず外國人の要求に對して國を開くに當り苟も我國權を維持して相當の地歩を占めんとするには我に戰ふの決心ありて始めて能く可きを以て時に應する政略として之を唱へたるに外ならず即ち先君先人は對等の大義を守り又我國實に對等の實あるを信じ苟も此大義に戻らざれば大に國を開く可し然らざれば一歩も讓る可らずとて拠ふを攘夷論を主唱したるまでにして或は之を積極的の攘夷論と云ふも可なり然るに今の論者の如きは始めより我國實の彼に劣るを觀念するのみならず現に我實力の如何をも知らずして徒に鎖半歳中に籠城せんと欲する者なれば自暴自棄、消極的の攘夷論と云ふ可きのみ積極的の攘夷論は時來れば一變して開國論となり對等條約說となる可し雖も消極的の論に亟りては只退て防がんとする卑怯の一方に傾くのみにして遂には力窮して彼に屈服するの外なかる可し我輩は先君先人の攘夷論に對しても今の非雜居論に贊成するみと能はざるものなり思ふに我地方の古老輩と雖も苟も先君先人の志を知る者は今の非雜居論には贊成せざるみどならん若しも然らずして彼の籠城論に雷同し蝸牛殼中に蟄居として自から委縮するみどもあらんに は其人々が昔年曾て主張したる攘夷の論は國權を蔑り體面を保つが爲にあらず只管彼を怖れて近けざらんと欲する者にして恰も小兒が人見シりして泣くに等しく水戸の士人も唯是れ人慣れぬ田舍の小兒なりしと云はるゝも恐くは辯解の辭に窮するみどならん地下の先君先人にして若し靈あらば今日の卑屈論を聞て之を何と か云はん其遺志に負くの甚だしきものなり故に非雜居論に對しては よく〳〵其性質を吟味し且は目今此論の流行する所以の事情を靜かに觀察して然る後に一身の去就を決す可し卑怯の擧動は男子の恥る所なり若し夫れ雜居の利害に就ては世既に定論あり敢て我輩の喋々を要せず我輩は只古老の人々に對して一考を促すのみ

雜報

○支那は銀を輸入せず　上海の英國總領事代理ヨーヨー ジャーンン氏は銀貨問題に付て支那が如何なる地位に在るか殊に世界の產銀を何程吸收するか又其下落に付て物價に如何なる影響を及ぼし輸出に增減ありしや如何ん等を取調べ近頃本國政府へ報告せり時節柄一讀の價あるものなれども長文なるが故に左に結論のみを譯載す

案ずるに支那人の眼より見れば銀價は從前と敢て異ならず同じ代價を以て諸穀の必要品を買ふみどを得るのみならず外國人へ賣込む物品は以前よりも高價に捌け且茶を除くの外は賣口多く其外賃錢、借地料、租稅、地代に至るまで曾て聊かも異なるみどなし只だ相違するものは外國人が輸入して代價に金貨を受取らんとする物品の價と外國人が金貨を集めんと欲するみどに甚しきに至りし丈けなり故に下の如く結論するを得べし

第一　支那は近年銀を大に吸收するみどなかりし千八百七十年より同八十年に至るまでは一箇年凡そ三百萬磅づゝを輸入したれども其後全く止みて近頃は多少輸出するに至れり

第二　金に對し銀の下落したるが爲め支那に於て產出し又消費する物價は平均して更に影響を感ぜざりし（甲）

支那の產出物及び通常金貨國へ輸出する物品は一般に稍や騰貴の傾あり尙ほ遠からずして大に騰貴するみどあるべし（乙）

從前は輸出して利益なかりし物品も銀價下落の爲め大に益あるに至りたれば外國商人の之を買入るゝもの多く爲めに大に輸出の高を增し十年間に四倍となれり茶は價格分量共に減じたれども是は別に道理あるにあらず最上生絲は較や高を增したれども代價には變りなく屑物は大に高を增して代價は較や下落したり

輸出は將來も引續き增加すべけれども今日の有樣にては左程のみどなかるべく歐洲の市場より銀を輸入するや否やは輸出貿易の盛入と超過するとに然らざるにより なれども兎に角に未來數年の間は到底多量の輸入を見るみどなかるべし云々

○横濱築港始末　横濱築港工事は其後如何に成り行きしや竈裏不始末の調査は如何なる成跡を見しや二百萬圓の資金を投じたる大工事は遂に水泡に屬すべきや世人の最も注目する所なれば今其工事の次第に就き聞得たる所を筆記せんに第一今日迄工事の沙取り　は如何と云ふに抑も工事に着手せしは明治二十二年なりしも二年より三年に掛けては工事の準備に時日を費し愈よ起工せしは二十三年夏の末頃にして起工以來今日迄に消費したる資金は凡そ百五十萬圓内外にて工事は先づ築港全體の七歩通り成功したる其工事を區別すれば

水埠（埠頭）及防波堤　の三にして水埠は

東水堤五千三百八十呎北水堤六千七百壓二呎

東水堤（堤手間の水流を築港外に導く水路）

此工費六万九千圓

ブロック即ちコンクリート塊二萬餘個を以て成る塊にして本年三月頃迄に全體の七歩通り成功し機械或は英吉利波止場より運搬二千三百噸

此工費大略五十萬圓にて今日迄の使用費は直續に繰出すもの來年三月頃迄には盡

幾課其他の諸費

幾課其他の諸費にて今日迄の使用費は直續に繰出すもの來年三月頃迄には盡る事あるも計られざる事なり見込みなりと云ふ右の中止せるかの如く信じ工事は中止せず　中止せざる如き幾課の如き浚渫の如き著々唯水堤のみを以て成功の用をなすものなるが如くして水堤は尙ほ成らざるも既に七歩の成功に達すれば機械は直ちに効用を始めて不始末は

竈裏か破壞か　悉皆竈裏に止まるのみなる日く築港はセメントは竈裏に止まらず破ぜり曰く工事は中止せり其だしきに至ては不必用のものなる殼の用に供せんが爲之を築港局の當局者は決して世人の云ふ如きすして其竈裏とて三個に過ぎず竈裏の幅は五分乃至一寸の實跡方もなき事にして取換へたるものは全體大堤重ね其中間に割栗石ロックを取除けんにはあるを得ず且又激潮のをば動かす能はざるも出す事少かず其中に入れ或は假りを防ぐ等時々手入れ大業に云ひ立てしも導水堤　の如きは東のものにして唯幡子川内に浸入せしめざるズックの袋に砂と砂利横に積み立てたる箇處もあるべく多少の容易の事にして是等のせりなぜ云ひ立てるとて竈裏は左程の障害に素人なる我々は其何に於ては其道に熟練なる調査委員　とし者をなせしや竈裏の原因けれ過セメントの精密なる海水の不適にあるか其又二百餘計りのコンクリートの置きたる由なれば其成を兼ず事なるべく此